

ありとのまき

「有戸野の牧はどこにあったのか？」

せんねん ひと うま れきし
～千年にわたる人と馬の歴史～

あいさつ

へいあんじだい きぞく うま こま
平安時代の貴族にとって、あこがれの馬であった「おぶちの駒」を
おく だ おぶち まき おぶち まき さいこう
送り出した「尾駁の牧」はどこにあったのか。そして、尾駁の牧を再興した
といわれる「有戸野の牧」、後に盛岡藩の藩営牧場の南部九牧の一つとし
て「七戸通蟻渡野ノ囷」にかかっている牧場は、どこにあったのか。様々な
しちのへどおりありとのず ぼくじょう さまざま
資料を基にその位置を特定していきます。この有戸野は、明治時代には
しりょう もと いち とくてい ありとの めいじじだい
陸軍の軍馬補充部の放牧場として、戦後は開拓と開発の中心として、深く
ひとびと せいかつ せんねん ひと うま れきし
人々の生活にかかわってきました。千年にわたる人と馬の歴史をたどる
きかくてん きかくてん とお ひとびと おも ろっかしょ
企画展です。この企画展を通して、人々がどのような思いでここ六ヶ所の
だいち せいかつ し たいかん ろっかしよむら みりよく
大地で生活していたのかを「知って、体感して」いただき、六ヶ所村の魅力
はくくつ はっけん はっしん ねが
の「発掘・発見・発信」につながることを願っております。
さいご きかくてん さい いわてけんりつとしょかん あおもりけんまいぞうぶんかざいちょうさ
最後に、この企画展に際し、岩手県立図書館や青森県埋蔵文化財調査セ
ンターなどの関係機関並びに岩手県二戸市千葉文齋氏のご協力を得ること
ことができました。改めて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありが
とうございました。

ろっかしょそんりつきょうどかんしてい かんりしゃ
六ヶ所村立郷土館指定管理者

いっばんざいだんほうじんろっかしよむらぶんかしんこうこうしゃ
一般財団法人六ヶ所村文化振興公社

ろっかしょそんりつきょうどかんちょう すず き ひろし
六ヶ所村立郷土館長 鈴木 浩



だいてうこうぎょうぼくじょう
大藤工業牧場のポニー